

生活排水処理の現状について

資料 3

1 処理形態別人口の推移

- 本市の生活排水は、下水処理施設、浄化槽汚泥処理施設、し尿処理施設、農業集落排水処理施設及びコミュニティ・プラントで処理
- 「単独処理浄化槽」及び「し尿くみ取り」人口は年々減少し、「公共下水道」、「農集排・コミプラ」への接続や、「合併処理浄化槽」への転換が進んでいる。

図1 生活排水の排出と処理の形態

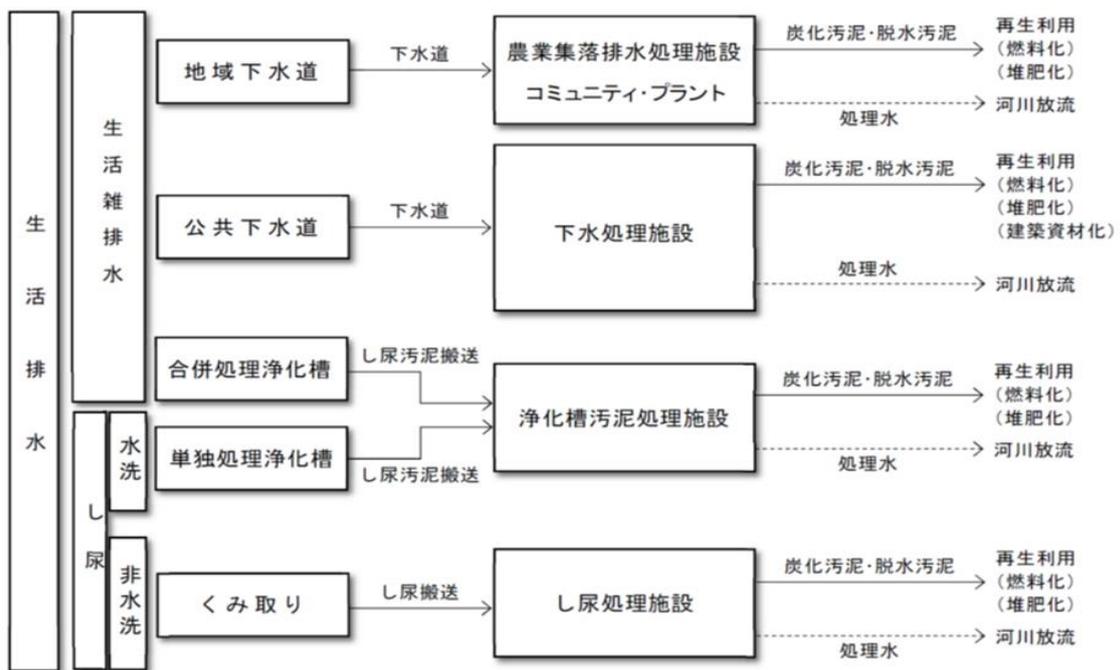
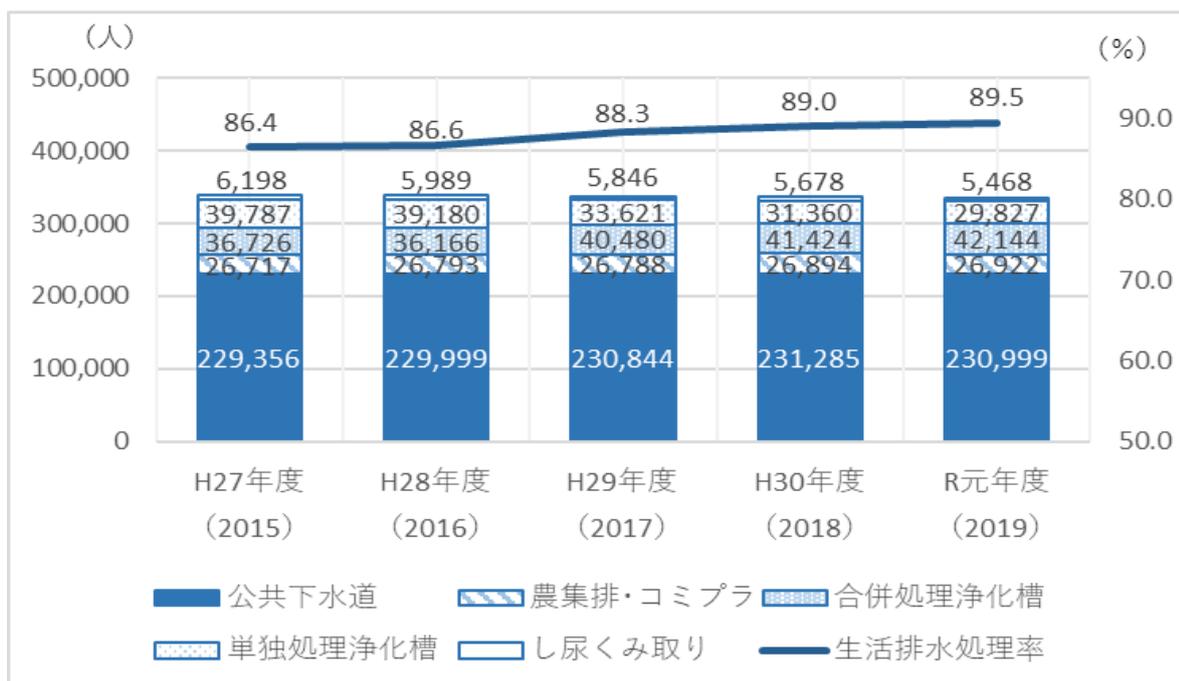


図2 処理形態別人口と生活排水処理率の推移

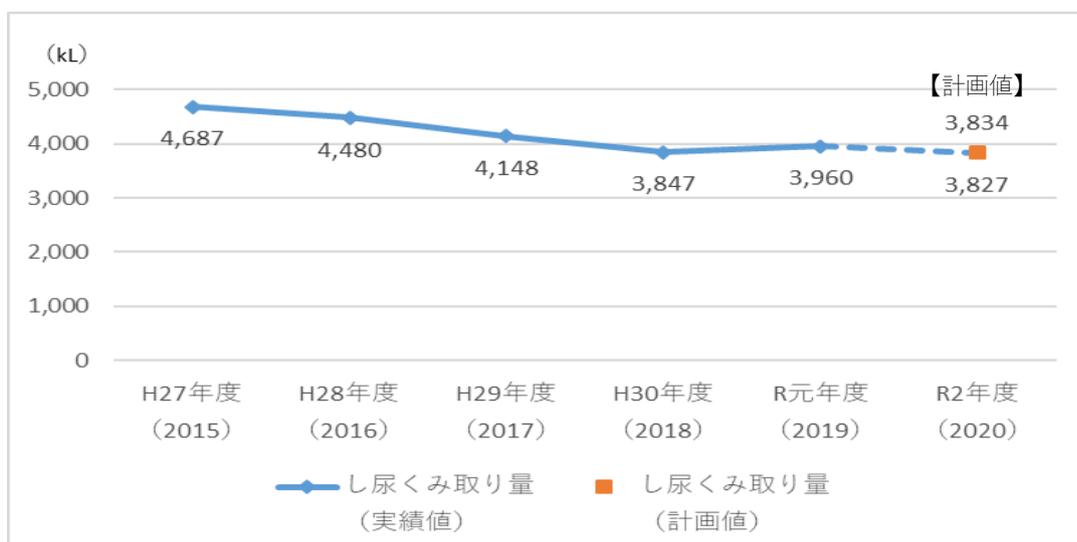


2 し尿・浄化槽汚泥量の推移

(1) し尿くみ取り量の推移

- 令和元年度は、2,672世帯5,468人と公衆便所の一部が主な対象
- 令和2年度は3,827 kL (1.96L/人・日)を見込み、計画どおりのくみ取り量
- 1人1日当たりのし尿くみ取り量は、1.96 Lとなる見込み

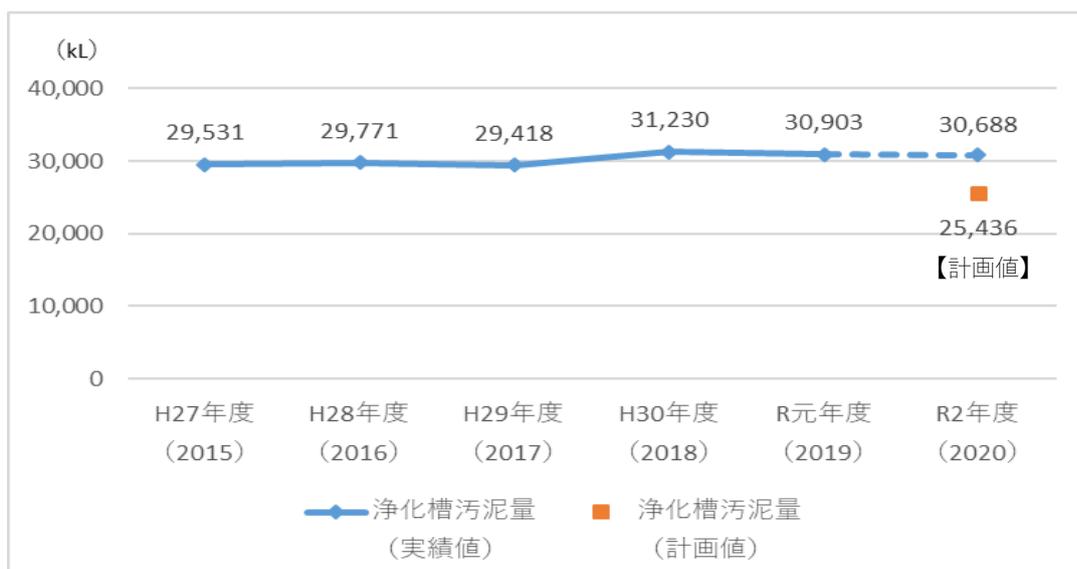
図3 し尿くみ取り量の推移



(2) 浄化槽汚泥量

- 令和元年度は、家庭、事業所、公衆便所等の約10,000基※が対象
- 令和2年度は30,688 kL (1.19L/人・日)を見込み、計画を上回っている。
- 合併処理浄化槽への転換が想定以上に進んでいることが要因

図3 浄化槽汚泥量の推移



※ 浄化槽清掃は11,783基を実施。事業所、公衆便所等を含み、規模によって年間の清掃回数が複数になるものがある。